

# 『生きづらさを抱えた方の家族としてできること』

■ 日時 令和4年1月22日(土)  
14:00~16:00  
(開場 13:30)

■ 会場 武蔵野スイングビル  
レインボーサロン (11階)

■ 入場料 無料

■ 定員 100名  
(密を避けるため会場定員300名のホールを使用しています)

\*要事前申込み手話通訳あり。  
後日、武蔵野市ホームページでも配信予定(令和4年2月末頃)です。  
詳細は、市報及び市ホームページでご確認ください。

■ 申込み締切 1月20日(木) \*来場者のみ

■ お問い合わせ ワークショップMEW  
(詳しくは裏面参照)

Tel:0422-36-2089



■ 主催 武蔵野市

■ 企画運営 精神保健福祉啓発事業実行委員会  
武蔵野市民生児童委員協議会 / 第二金曜会 / わいわい / 浩仁堂 /  
NPO法人ミュー

■ 後援 社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会 / 東京都多摩府中保健所

家族とは、他の集団とは著しく異なる特性を持つ、日常的に影響を与え合う密接な集団と言えるでしょう。家族内に「生きづらさ」を持つメンバーがいた場合は、「生きづらさ」を招きます。家族としてできること、見守ることを一緒に考えてみませんか。



"What you can do as a family"

■ 講師 長谷川 俊雄 (はせがわ としお)  
白梅学園大学子ども学部子ども学科・教授  
(社会福祉士、精神保健福祉士)  
横浜市の福祉事務所、保健所においてソーシャルワーカーとして働く。その後、精神科クリニック、愛知県立大学を経て現職となる。NPO 法人つながる会、認定 NPO 法人フリースペースたまりば等、その他多数の活動にも携わる。  
著書『引きこもりの理解と援助』(共著)ほか多数。

